



吹田 薫 議員

高島市の農産ブランドについて

農業従事者の高齢化や後継者問題について対策や支援は。

答 単独支援制度を創設し、主食米に代わる高収益作物への生産転換を進めています。

問 高島市農産ブランド

認証制度の見直し後は。

答 農林水産部長

この制度は、高島市で生産される農産物の生産過程での農薬や化学肥料の使用量を軽減し、消費者に安全安心な農産物をお届けすることを目的に、農産物の付加価値向上を図る制度として取組みを進めてきました。そのような中、今後国内流通において生産工程管理の取り組みが必要だと予想されることから、ブランド認証の取り組み項目に生産工程管理の項目を加え、生産工程での安全面の確保を

図り、ブランド認証農産物の更なる安全性の担保と、

GAP 認証取得促進につながるよう制度を見直ししました。

問 安全で安心な特産品のPRRはどのようになっているのか。

答 農林水産部長

今年度は、市内道の駅や農産物直売所において、認証取得農家に「ご参加いただき、農産物の安全性を消費者に伝えていただく」とも、ブランド認証農産物を調理し、試食ができる特設販売コーナーを実施してい

ます。

市外での産直市では、認証取得農業者とともに、制度の周知と農産物の販売を行ったほか、産直市会場周辺に所在する、食材の安全にこだわりを持つ飲食店へ「ご案内し、食材納入に向けての商談の機会づくりを行う」など、認知度の向上と販売促進に努めています。

問 農業従事者の高齢化や後継者問題について

市の対策や支援は。

答 農林水産部長

市では、農業経営の安定化に向け、野菜生産拡大など、単独支援制度を創設し、主食用米に代わる高収益作物への生産転換を進めています。

また、高齢化による離農や担い手の不足を解消し、将来に向けての農地の保全や担い手の確保を図るため、集落での話し合いを通じて、地域農業の未来の設計図となる「人・農地プラン」の策定に向け、市、県、

農業委員会、関係団体等が連携し、各集落への支援に努めています。



高島市農産ブランド認証マーク

その他の質問

● 定住住宅取得補助制度の廃止について